

総合計画の進捗状況及び成果

地方創生推進部 政策企画課

将来像・人口展望

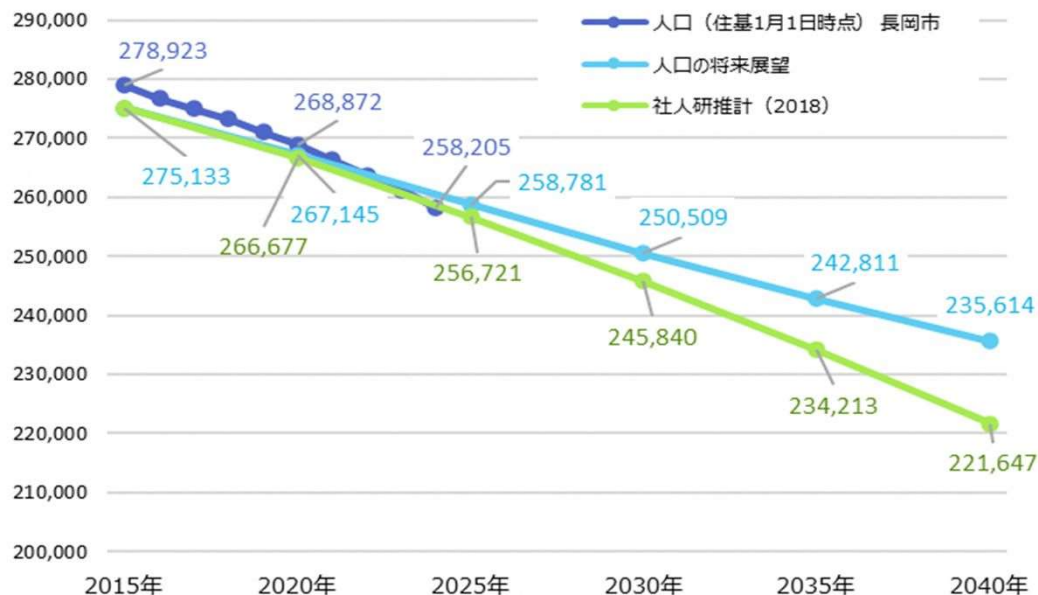
■「将来像」について

- ・現計画では「前より前へ！長岡 志を未来に活かし輝き続けるまち」を将来像として、人口減少に歯止めをかけるため、10年先20年先の未来を担う次の世代への投資に取り組むとともに、まちづくりを支える人や産業を積極的に応援することとしてきました。
- ・具体的には、あらゆる分野でのイノベーション推進、NaDeC構想の推進やミライ工場等の開設など産学連携による産業創出や人材育成、起業・創業支援や産業団地の分譲、サテライトオフィスの誘致など働く場の創出、子どもの遊び場や保護者の相談・交流の場としての子育ての駅の充実、「熱中！感動！夢づくり教育」に基づく教育の充実など、着実に事業を実施してきました。
- ・また、地域防災訓練や不登校支援など、地域の課題や実情に即した教育活動に子どもと地域の人との協働や、地域の宝の磨き上げ、郷土の歴史・文化などそれぞれの地域の特色を生かした地域学習を展開することでふるさと長岡への愛着と誇りを醸成してきました。
- ・中山間地域や支所地域においては、主な施策として、地域医療・地域交通の確保、鳥獣被害対策のほか、地域コミュニティへの活動支援や活動の場の確保等により、地域人材の発掘・育成など地域課題の解決に向けた取組を進めました。
- ・しかしながら、未婚化、晩婚化などによる出生数の減少、首都圏等への若年層の市外転出などにより、結果的に人口減少に歯止めをかけるには至っていません。引き続き、若者や女性にとって魅力的な働く場の創出や子育て・教育環境・体制の整備などにより人口減少対策の取り組みを推進していきます。

■「人口の展望」について

- ・合計特殊出生率を段階的に上昇させ、2040年に2.19に到達すること。社会増減については、主に若者世代における純移動率が段階的に縮小し、2035年に均衡に至り、以降は社会増に転じていくことを目指していました。
- ・これに対し、合計特殊出生率は、概ね1.35程度で推移しており段階的上昇には至っていません。また、2023年は、約3,000人程度の人口減少となっており、今後も同様の傾向が続いた場合、2025年の人口は国立社会保障・人口問題研究所の推計を下回る数値となり、2040年の人口の将来展望235,614人には及びません。人口減少対策を次期計画の最重要課題として位置づけ今後も、強力に推進していく必要があります。

人口推移と人口将来展望、社人研推計の比較



【出典】
 人口：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」（2015年～2022年）※年次データ
 2023年、2024年については、長岡市webサイト「住民基本台帳人口・世帯数」をもとに年次の数値を算出
 人口の将来展望：第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略/人口ビジョン～長岡リジュベネーション（長岡若返り戦略）～
 社人研推計（2018）：国立社会保障・人口問題研究所は「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

社会増減の推移

年次	2020	2021	2022	2023
転入数（人）	6,141	6,094	6,518	6,420
転出数（人）	6,812	6,696	6,895	6,986
社会増減数(人)	-671	-602	-377	-566

自然増減の推移

年次	2020	2021	2022	2023
出生数（人）	1,631	1,595	1,571	1,436
死亡数（人）	3,475	3,599	3,627	3,952
自然増減数(人)	-1,844	-2,004	-2,056	-2,516

【出典】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」 および
 長岡市住民基本台帳 転入転出者情報

合計特殊出生率の推移

年次	2020	2021	2022	2023
長岡市	1.36	1.34	1.37	-
新潟県	1.33	1.32	1.27	1.23
全国	1.33	1.30	1.26	1.20

【出典】合計特殊出生率：新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部「健康福祉環境部の概要」（令和6年4月）
 ※合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が一生の間に生む平均の子どもの数にあたる。

■ 政策1 協働によるまちづくり

市民力と地域力を活かして、新たな価値や活力を生み出すまちづくりを目指します。

- 市民の協働・交流の拠点であるアオーレ長岡を核として、市民活動は盛んになっており、アオーレ長岡は、市民活動の「ハレの場」として、市民主導の活動を実現する場として定着しました。また、市民協働センターによる市民活動団体の下支えや、補助金による支援活動など若者、女性、外国人など、さまざまなまちづくりの担い手の活躍や暮らしやすさを支える取組を進めています。
- 性別による固定的な役割分担意識など、アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）を認識し解消するための意識啓発を行い、審議会などの女性登用率が増えているなど、男女がともに社会に参画し、それぞれの意見や価値観が反映され、誰もが活躍できる「男女平等と共同参画をめざしたまちづくり」の実現を図っています。
- 近隣自治体との公施設の相互利用や消防出動の相互応援体制の構築を進めるなど、市民の暮らしやすさの向上に取り組んでいます。
- 経営的視点に立ち、民間活用・業務集約、公共施設の適正管理のほか、AIなどの先端技術の導入により行政事務の効率化及び生産性の向上に取り組んでいます。



二十歳のついで



ウィルながおかフォーラムメインイベント



■ 政策2 人材育成

子育て支援や教育の充実、市民主体の文化・スポーツ活動への支援などにより、長岡への愛着と誇りを持った人材の育成を目指します。

- 人づくりを第一とする「米百俵」の精神を受け継ぎ、すべての市民の知恵と力を合わせてオール長岡で人材育成を進めています。すべての子どもの健やかな育ちを支えるとともに、保護者が安心して子どもを産み育てられるよう、保育環境・体制の整備や多様な保護者ニーズに対応する各種子育て支援を実施しています。
- 一人ひとりの子どもに最適な学びを保障するため、長岡教育情報プラットフォーム「こめぶら」を活用しています。企業や大学、高等専門学校、市の関係部局との連携を図り、地域の歴史や自然、文化、産業に関するコンテンツを配信し子どもたちの長岡への愛着と誇りを育むとともに、豊かな体験と確かな学びで子どものやる気や意欲を引き出し、夢を描き志をたてる力と生き抜く自信を育てています。
- 東京フィル演奏会などの芸術文化事業の開催や市民の文化活動への支援など文化振興の充実を図りました。また、スポーツ選手の育成・強化に取り組み、世界や全国で活躍する選手を数多く輩出しました。



子育ての駅 ちびっこ広場



ままりでの育児相談



「こめぶら」で動画の感想を話す児童



東京フィル コミュニティコンサート（アウトリーチ）

■ 政策3 さらなる産業の活性化

地元企業・地場産業への応援と、新たな雇用と産業の創出により、若々しく成長力のあるまちづくりを目指します。

- NaDeC構想が進捗するとともに、ミライエ長岡も開設し、産学連携による産業創出や人材育成を進めています。加えて、起業・創業や新たな企業立地についても成果が創出されています。
- サテライトオフィスの誘致については、着実に増加しており、テレワーク人材の育成も進めています。
- ミライエ長岡などを中心にイノベーションやスタートアップ育成などに、引き続き積極的に取り組むとともに、地元就職の増加について、積極的に取り組んでいます。
- 農業、林業について計画的な事業進捗を図るとともに、脱炭素社会の実現に向け、環境と経済の好循環の取り組みを実施しています。
- 働き方改革の取り組みを推進し、市内事業者による合同説明会の開催や大学担当者と企業のマッチング等により、市内事業者の採用活動を支援するとともに、地元就職、U・Iターンを促進するため、「はたプラチナ賞」表彰制度による働き方改革の優良事例の発信、「NAGAOKA WORKER」によるテレワークの推進を図りました。



リーンローンチパッドプログラム



ナガオカワーカー交流会

■ 政策4 暮らしの安心と活力

市民の誰もが、健やかで元気に、安全で安心して暮らせて、活力が持てる地域社会づくりを目指します。

- 官民による健康づくり事業が進み、運動習慣がある人が増加しました。健康寿命延伸のために生活習慣病の予防や青壮年期への働きかけなどの取り組みを進めています。
- 救急体制や地域福祉の維持・充実を進めてきました。多様化・複雑化するニーズや課題に対応するために、行政・事業者・市民がより一層連携しながら、地域包括ケアシステムの深化・推進を進め、地域共生社会を確立していくことを目指します。
- 住民主体の地域活動の支援により市内全地域にコミュニティ推進組織が誕生し、交流拠点施設（トチオーレなど）の整備も進んでいます。
- 防災リーダーの育成や自主防災会組織の活動支援などにより、自助、共助、公助や地域防災意識の向上に努めました。
- 消費生活相談による消費者被害の回復や拡大防止、啓発事業による被害の未然防止など、市民の暮らしを守る取り組みを進めています。
- 支所地域において、市立診療所の維持やオンライン診療の導入による地域医療の確保や、地域交通の確保のためデマンド交通の立ち上げに取り組みました。
- 「捕獲」「被害除根」「環境整備」を柱とした総合的な鳥獣被害対策を、地域住民と一体となって進めています。



オンライン診療



健康づくり事業



自主防災会組織活動

■ 政策5 都市環境の充実

豊かな自然とまちの魅力が共生し、暮らしやすく、快適で環境にやさしいまちづくりを目指します。

- 中越圏域の発展を見据え、広域的な幹線道路の整備が進み、地域間の連携強化や渋滞解消などの成果が表れており、拠点性を高めるまちづくりが進んでいます。
- 都心地区には中越圏域を支える多様な都市機能が集積し、人口減少社会に対応した持続可能でコンパクトなまちづくりが着実に進んでおり、ミライエ長岡には若者や産業人が集い、イノベーションが生まれる環境、まちの魅力を高める環境が整いつつあります。
- また、各地域拠点には、拠点性を向上させる都市機能を配置するとともに、都心地区や各地域間の連携・交流を促進するため、公共交通の確保や広域幹線道路体系の整備を進めました。
- さらに、歩道の整備や雪害対策の推進、安定した上水道の提供など、快適で暮らしやすく、安全・安心な生活環境の整備が進んでいるほか、ごみの排出量の減少や温室効果ガス削減など、環境負荷低減の取組が市民にも浸透し、環境にやさしいまちづくりが進むとともに、自然環境の保全と開発とが調和したまちづくりが進んでいます。



ミライエ長岡（外観、内観）



中之島信条クリーンセンター



トチオーレ

■ 政策6 魅力創造・発信

地域資源の掘り起こしや磨き上げを行うとともに、国内外に向けた魅力の発信や交流の促進により、「長岡ファン」の拡大を目指します。

- 撰田屋・宮内エリアでは観光ビジョンの策定や同ビジョンの実装化を目指す取組が進んでいます。また、蓬平・山古志地域との二次交通の実証実験など面的な経済波及効果の拡大を進めています。
- 官民産学が連携し、日本酒や発酵文化のプロモーション、錦鯉・長岡食材のブランド化を図った結果、ふるさと納税事業は、寄付額が増加しており、R5年度は過去最高額となりました。引き続き、長岡らしい特色ある返礼品の充実に取り組みます。
- 観光情報の発信を行う道の駅が起点となり、市内の他施設へ観光客を誘導する周遊観光の取組を進めます。
- 各地域において、地域住民組織、各種活動団体等と行政の協働によって、各地域資源の発掘や地域の宝を磨き上げる取組、また、地域外の関係人口との連携、さらには、SNSなどの新しい媒体も活用した情報発信も行ったことで、地域資源を再認識したり、新たな視点での議論や新しい地域活動団体が組織されるなど、新たな活力が生まれています。



道の駅
ながおか花火館



旧機那サフラン酒製造本舗

次期総合計画策定に向けた市政の主な実績

一 目 次		
新型コロナウイルス感染症対策		6
不登校、ひきこもりの状態の人への支援		7
eスポーツの展開		8
女性が輝く社会に向けた市の取り組み		9
地域の個性が輝くまちづくり		10
医療環境の整備・向上		11
地域医療の確保 ～オンライン診療～		12
E d u - D i v e r (エデュダイバー) 構想		13
学校外の学びの場		14
長岡版「ネウボラ」		15
子育て日本一へ		16
災害に強いまちづくり		17
鳥獣被害対策を強化		18
スマート農業の推進		19
長岡花火での来訪を契機とした関係人口創出		20
観光のハブ 道の駅「ながおか花火館」		21
発酵・醸造のまち「宮内・摂田屋地区」の観光振興		22
悠久山公園の再整備		23
長岡の歴史を未来へ継承		24
市民の主体的な活動を支援		25
テクノロジー人材が長岡で育つ、集まる		26
外国人が働き、活躍できる「長岡モデル」		27
産業団地への企業誘致		28
新しい働き方「NAGAOKA WORKER (ナガオカワーカー)」		29
サテライトオフィス誘致		30
若者への起業支援		31
女性活躍支援×起業×長岡造形大		32
地域資源循環による新産業の創出		33
世界最大級のメタネーションプラント建設中		34
脱炭素化の支援で競争力を強化		35
日本初「イノベーション地区」の創設 長岡市×内閣府×東京大学CREI		36
人材育成と産業振興の拠点 米百俵プレイス ミライエ長岡		37
デジタル化・DXの推進拠点「ながおかDXセンター」		38
イノベーションの動き		39
外部からのイノベーションの評価		40
ふるさと納税、好調		41
健全財政の堅持		42
原子力防災の取り組み		43

新型コロナウイルス感染症対策



- ・長岡市医師会や医療機関と連携し、ワクチン接種などの感染症対策を迅速に実施
- ・基幹3病院を含む市内10病院の医療体制強化を支援
- ・幼・保・小・中学校、公共施設等の感染防止対策を徹底
(自動温水設備、PCR検査、消毒液等)

- ・感染拡大の状況を踏まえ、市独自に検査体制を強化
(PCR検査センター・抗原検査)
- ・自宅療養者への食糧支援、帰省を自粛している市内学生や市外いる市出身学生に特産品を配布



不登校、ひきこもりの状態の人への支援

- ・令和5年9月、集団での活動や交流が難しい子どものために、新たな居場所として教育センター内に「ほっとルーム」を開設
- ・不登校が増加する中、令和5年度から「子ども・青少年相談センター」に、自立支援コーディネーターとスクールソーシャルワーカーを新たに配置し、支援を強化



- ・今年4月、長岡市ひきこもり相談支援室を「トモシア」2階に開設
- ・保健師や社会福祉士などの資格を持つ職員が相談を受け、ひとり一人に合った支援を実施
- ・気軽に立ち寄れる居場所「こんぺいとう」も開設し、社会とのつながりを回復する第一歩を後押し

eスポーツの展開



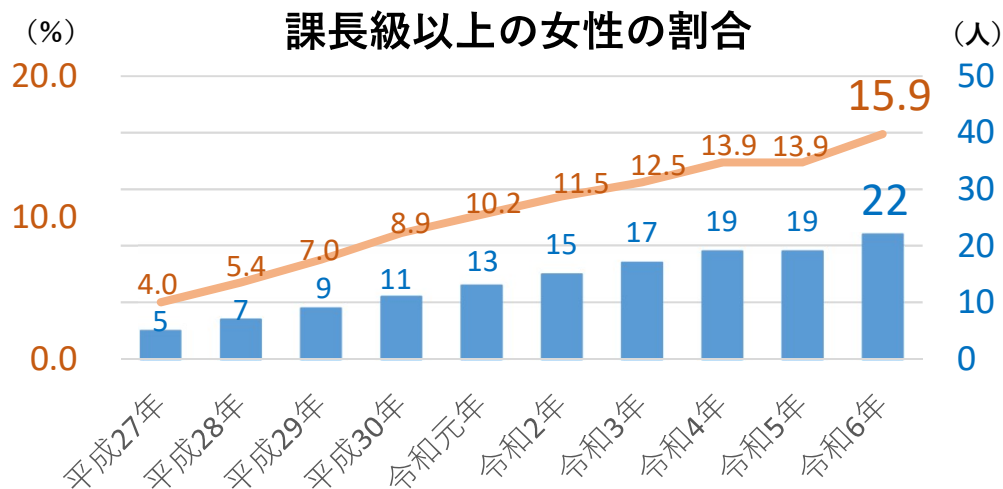
- 令和5年6月、栃尾地域交流拠点施設「トチオーレ」と寺泊文化センター「はまなす」にeスポーツスペースを開設
- eスポーツは、年齢や性別、体格や障害、国籍や場所に関係なく、多様な人が一緒に楽しめる

- 令和5年10月、65歳以上を対象に、太鼓の達人による脳活イベントをミライエで開催
- eスポーツで認知症予防と社会交流の促進へ

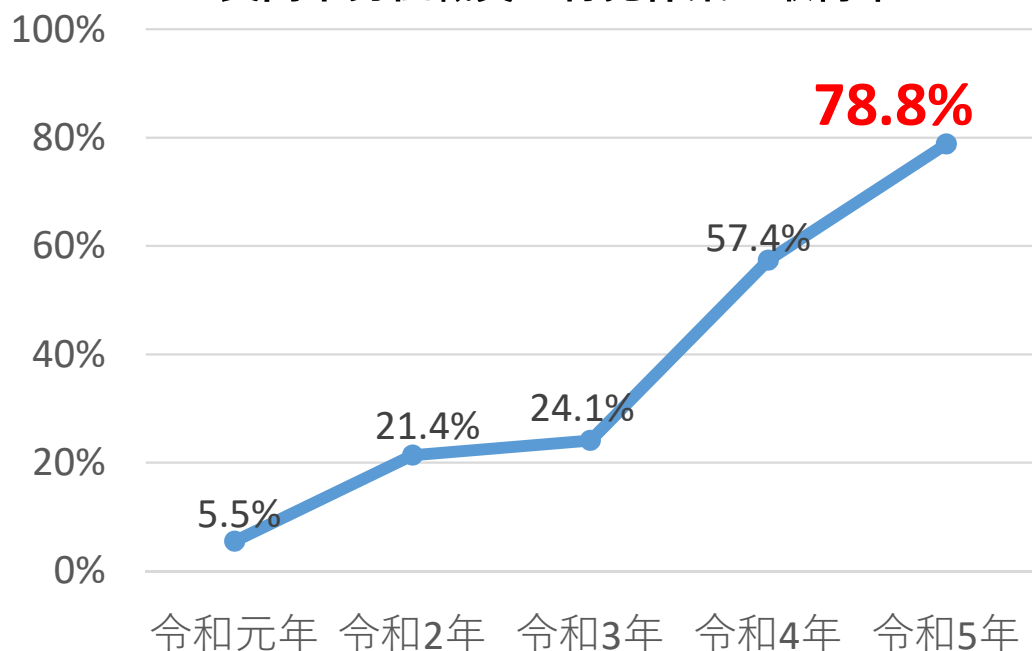


女性が輝く社会に向けた市の取り組み

- 長岡市は、令和4年4月に女性活躍推進担当部長を新設し、女性が活躍できる環境づくりを推進
- その一つの成果が、市男性職員の育休取得率の増加で、令和5年度は70%を超えた



長岡市男性職員の育児休業の取得率



地域の個性が輝くまちづくり

トチオーレオープン1周年記念イベント



- ・令和4年5月、栃尾地域交流拠点施設「トチオーレ」がオープン

与板交流拠点施設外観イメージ



- ・現在、与板地域交流拠点施設と川口地域交流拠点施設の整備を進めている



令和4年5月 中之島コミセン上通分室オープン



令和6年6月 中之島コミセン信条分室オープン

医療環境の整備・向上



高度医療を行う長岡赤十字病院

- 基幹3病院に運営費を支援
(救急医療の確保及び地域医療体制の充実、医師確保対策など、4年間で7億6千万円)
- 休日・平日夜間急患診療所への支援と中越こども急患センターの運営により、医療体制を確保

- 令和5年10月、「米百俵プレイス北館」に医療ゾーンがオープン
- 内科・小児科・皮膚科系クリニックと調剤薬局、神経内科系クリニックが進出。中心市街地で、多様な医療分野の相互連携により、地域医療を提供



「米百俵プレイス 北館」にオープンした
崇徳会のクリニックとインフォメーションセンター

地域医療の確保 ～オンライン診療～



- 令和5年1月から、山古志診療所でオンライン診療をスタート
- ビデオ通話が不慣れな方でも「対面の時と同じように診察を受けることができた」と好評

- 令和5年11月、山古志診療所への通院が難しい高齢の患者の移動負担を軽減するためオンライン診療車による診療を試行的に開始
- 予約した患者は、看護師のサポートを受けながら、診療車内でテレビ会議システムを通して医師の診察や薬剤師の服薬指導を受ける



県内初



試行の検証

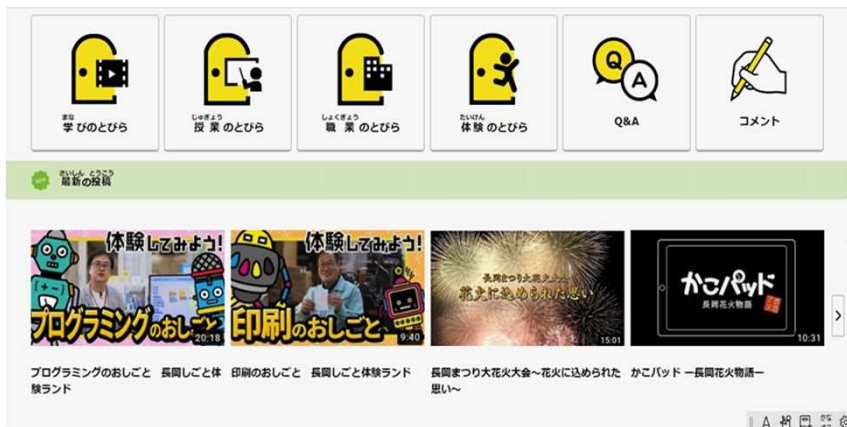
他地域への展開

Edu-Diver (エデュ ダイバー) 構想

ICTを活用した長岡独自の教育体制「Edu-Diver構想」※

- ・令和2年度に市内全小・中学校などの児童生徒に1人1台端末を整備
- ・令和4年10月から家庭へのタブレット端末の持ち帰りを開始。利用範囲を家庭にも広げ、家庭学習や学校との連絡ツールに活用

※Edu-Diver: 教育 (Education) と多様性 (Diversity) を組み合わせた造語



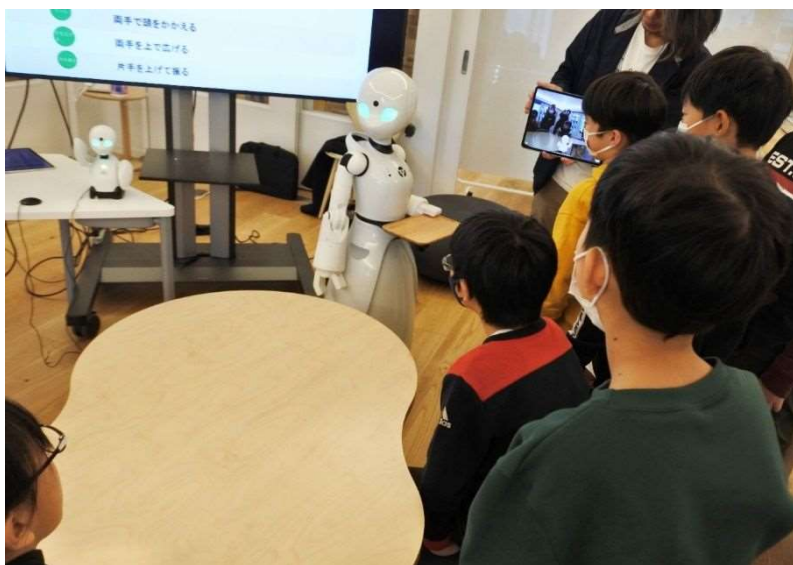
独自の学習コンテンツや体験活動等の情報を集約したウェブサイト「こめぷら」スタート

- ・長岡の先人やものづくり技術、仕事体験など幅広いジャンルの動画を配信
- ・市内の文化施設やイベントなどの情報を関連付け、実際に体験できる仕組みを構築

学校外の学びの場



- 子どもたちがさまざまなことに興味を持ち、視野を広げられるよう、子どもたちの創造力を育む「ミライエクリエティブキッズ」を実施
- AIロボットやプログラミング、動画制作など、充実したプログラムを提供

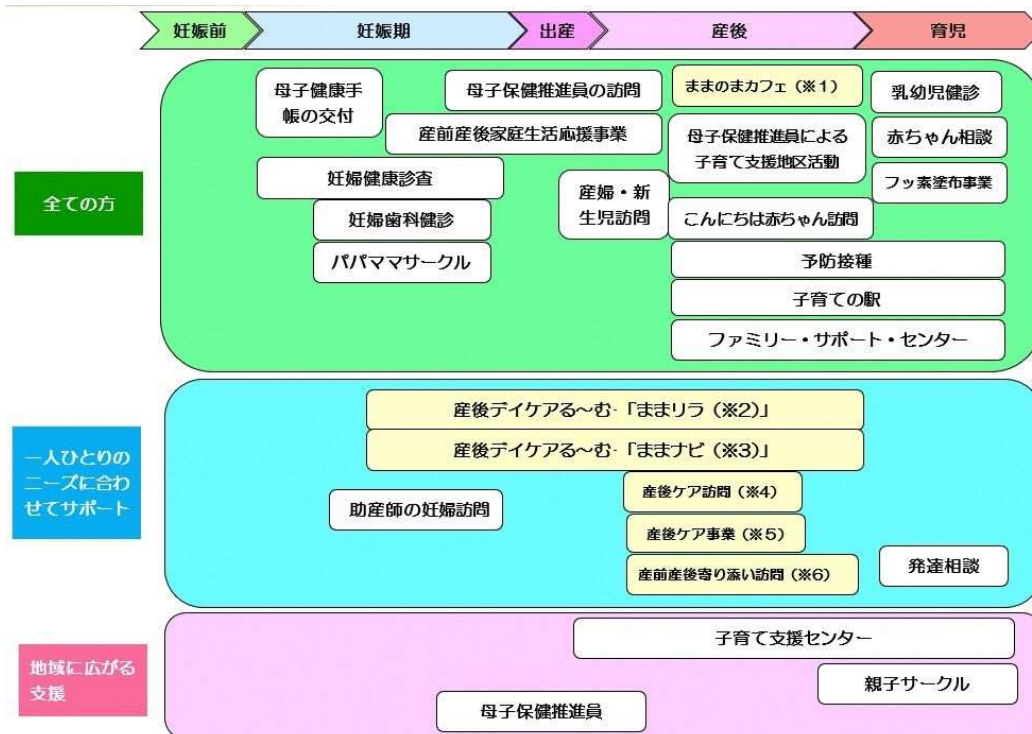


長岡版「ネウボラ」

- ・長岡版ネウボラは、保健師や助産師、保育士などの専門職員が、子育てコンシェルジュや母子保健推進員などと連携して、妊娠・出産・育児を切れ目なく支援



※ネウボラ・・・フィンランドで実施されている妊娠・出産・育児を切れ目なく支援する制度



- ・産後ケアコーディネーター(「ままりら」に常駐)は妊産婦の状況を継続的に把握し、ニーズに合わせ必要な支援を調整。情報提供や関係機関と連携して支援

- ・令和2年度から、産後ケアの拠点施設「ままりら」に、17時から20時までのイブニング枠を新設

子育て日本一へ

- 昨年、日本経済新聞社が行った「共働き 子育てしやすい街ランキング」で、長岡市は**全国18位、北信越でトップ**に！
- 中でも「保育の質」部門では**全国1位**となり、各保育園との相談体制や園長・保育士向けの多様な研修などが大きく評価された



川口保育園 令和7年1月開園予定



- こども発達相談室の専門職スタッフによる、子育ての駅での出前講座を実施
- 子どもの発達に悩む保護者が気軽に立ち寄り、交流・相談できる「トークルームぷらっと」を開設
- 発達段階に応じた相談体制の充実など、安心して子育てできる環境を整備

災害に強いまちづくり



- 令和4年から「長岡方式の避難行動」を実践する防災訓練を実施

まずはこちらを検討

①・②ができない場合

- ① 浸水しない場所へ
車などで避難



浸水しない地域にある親戚・知人宅や車中避難場所へ

- ② 自宅の上の階に避難



3日分以上の食料や水を備蓄
 車は浸水しない場所に移動

- ③ 最寄りの避難場所に
避難



浸水が想定される区域内であっても、上の階に避難できる施設です。VACAN（右）で避難場所や混雑状況が確認できます。
 渋滞の発生や緊急車両の妨げにならないよう、移動は原則徒歩で
 食料や水、薬などを持参

車中避難場所

高台などにある施設の駐車場、学校のグラウンドなどを一時的な滞在場所として開放します。



ポイント

ハザードマップで、自宅が水に流されて倒壊する恐れがなく、上の階が浸水せず安全と判断できた場合のみ有効です。



- 豪雨の際に信濃川へ雨水を直接排水できる**寿町排水ポンプ場**を整備
※今年8月中旬稼働予定
- 市内最大の排水能力を持ち、25mプールの水を40秒で排出できる。



排水ポンプ



施設の外観

鳥獣被害対策を強化

- 令和元年に鳥獣被害対策室を設置、翌年に鳥獣被害対策課とし、防除・環境整備・捕獲の3本柱で鳥獣対策を進め、不要果樹等の伐採支援や緩衝帯整備支援、電気柵購入補助、捕獲の担い手確保などに力を入れて取り組んできた
- 今年度は、ツキノワグマ、イノシシ等の大型鳥獣の捕獲を強化するため、新規猟銃取得の支援や、クマを引き付ける不要果樹等の伐採補助の拡充を進めている



スマート農業の推進

スマート農業を誰でも・気軽に「学べる」拠点施設を整備！

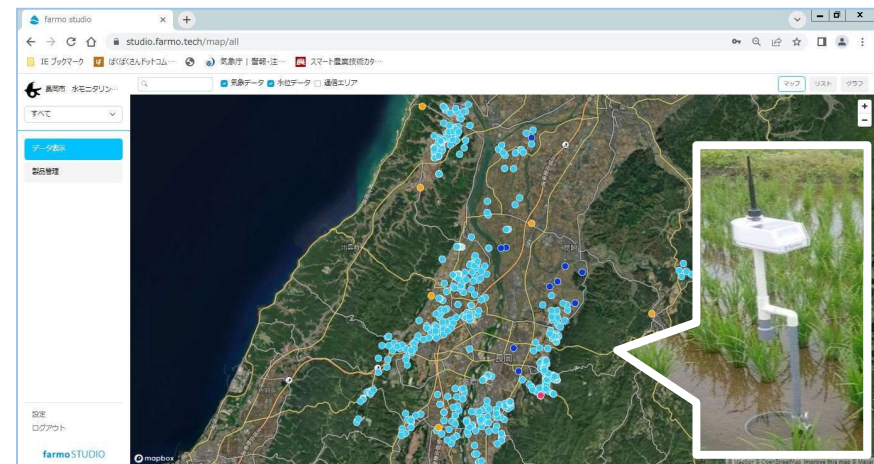
- ▶ 農業者から子どもまで誰もが最先端の農業を体験可能
- ▶ スマートアグリに対する情報不足の解消や農業の魅力向上を図る
- ▶ R4年9月のオープン以来、延べ約650名が来場
- ▶ 研修受講者のうち約50名がスマートアグリ機器を導入



ドローンや自動操舵トラクタのほか、長岡の強みである天然ガスを活用した次世代園芸施設での研修も可能

IoTセンサーで市内水田のデータを収集し農業DXを実践！

- ▶ 農業者と連携し、市内全域にIoTセンサーを約650台設置。水田の水位や水温、気象情報などをデータ化・集約
- ▶ 集約したデータを関係機関と共有し、気候変動に対応した営農指導や災害対応に活用
- ▶ 農業者は、センサーを活用することで、スマート農業の負担軽減効果を実感



長岡花火での来訪を契機とした関係人口創出

- 楽天グループ（株）との包括連携協定の一環として、**楽天が蓄積するマーケティングデータを活用した新たなプロジェクト**を実施。
- 「楽天チケット」での**花火観覧席購入者をターゲット**に、長岡への**情報接触と関係人口創出**について検証。**楽天ふるさと納税**や**長岡市公式ショップ「丸ごとながおか」**とも連動。
- 花火チケット購入を入り口に、**長岡の経済波及効果の最大化を目指す。**

長岡花火を起点とした事業シナジーの拡大・部局間連携



大花火大会時に、ミライエ長岡にふるさと納税ラウンジを開設

観光のハブ 道の駅「ながおか花火館」

○令和2年9月にオープンした道の駅「ながおか花火館」は、昨年5月に累計来場者300万人を達成 ※R6.9月末現在:約470万人

○今後は花火館を観光のハブとし、国道289号の八十里越え区間が開通する栃尾地域など、各地域と連携して周遊につなげる取り組みを進めていく



発酵・醸造のまち「宮内・摂田屋地区」の観光振興

- 旧機那サフラン酒製造本舗の整備により、令和2年10月に「米蔵」がオープン。昨年度は庭園池の修復が完了し、年間の来館者は4万5千人を超えた

- 発酵・醸造の魅力を大きく発信するイベント「ハッコートリップ HAKKOtrip」を宮内・摂田屋地区で開催



※令和2年10月
米蔵オープン

悠久山公園の再整備



- ・令和2年度から、悠久山公園の再整備をスタート
- ・老朽化が進む桜の再生や、園内のトイレや遊具の改修、園路の整備を進めている

※子育てゾーンのトイレ、大型すべり台の改修は完了

- ・悠久山公園内にある河井継之助や小林虎三郎など、長岡の先人の石碑への音声道案内とAR解説をスタート
- ・1人1台タブレット端末の活用が定着した中、校外学習や遠足など身近な歴史学習の場としての利用が広がっている



長岡の歴史を未来へ継承



- ・令和5年7月1日、長岡市歴史文書館がオープン
- ・「オール長岡」の歴史文書を保存・活用する拠点、郷土長岡のあゆみを発信する施設として、市民と一緒に育てていく

- ・令和4年度から長岡戦災資料館の移転整備を進めている
- ・悲惨な戦争の記憶を風化させることなく、空襲殉難者の慰霊と平和の尊さを後世に伝える恒久的な伝承施設として整備し、長岡戦災資料館から世界平和へのメッセージを広く発信
- ・移転整備事業に際し、クラウドファンディングを実施中



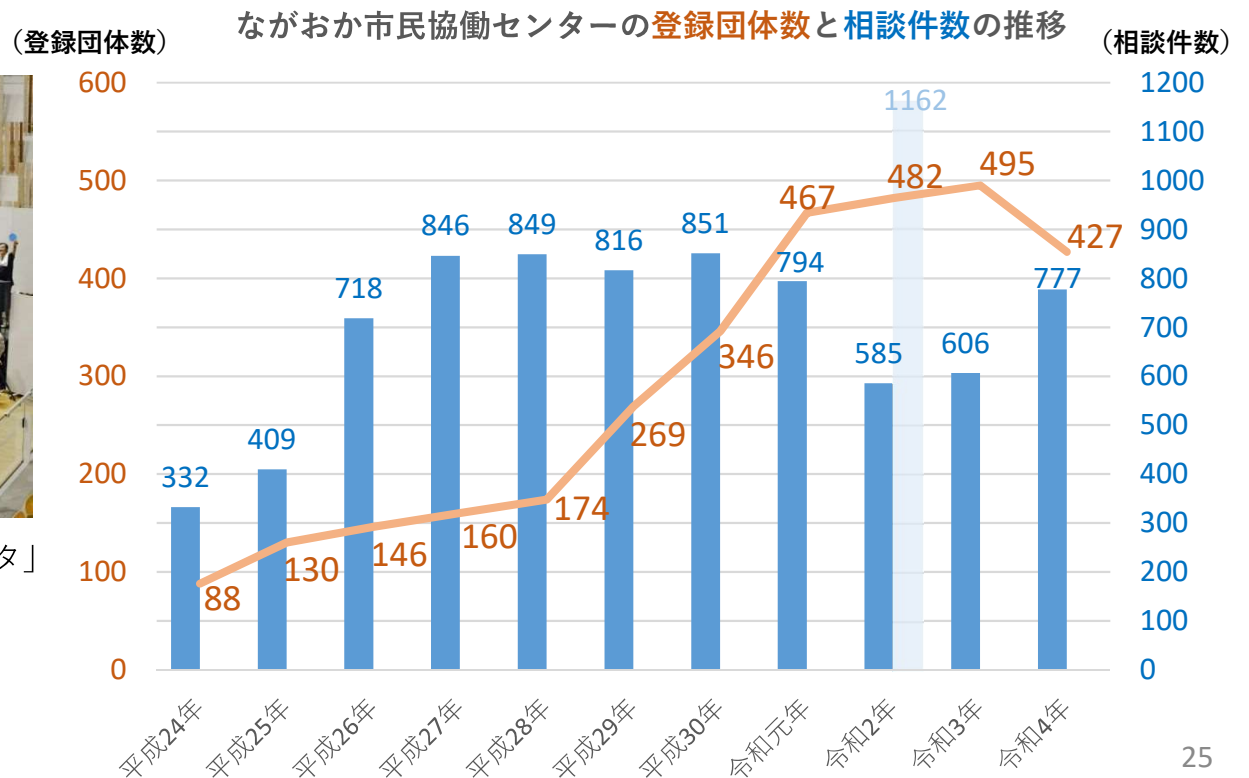
遺影展示室のイメージ

市民の主体的な活動を支援

- 未来共創補助金などを通じて、市民が主体的に取り組むさまざまな活動をしっかりと下支え
- ながおか市民協働センターの登録団体数は、10年で約5倍となる**427団体**に増え、子ども食堂など、市民が主体となった社会課題への取組も活発に
- 相談件数も2倍以上の**777件**に増え、人や団体の紹介、資金調達にいたるまで、さまざまな相談にも幅広く対応



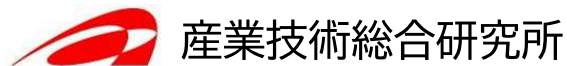
市民活動の発表と交流の場「市民活動フェスタ」
昨年度は67団体が参加、5,000人が来場



テクノロジー人材が長岡で育つ、集まる



- ・ 東アジア唯一のSDGs
ゴール9 ハブ校 
- ・ 留学生230人（学部71人、大学院159人）
- ・ NHK学生ロボコン大会優勝



- ・ 令和5年11月、産総研、長岡市、長岡技科大が連携し、自治体が参画する全国初の産総研BILをミライエ長岡に開設



- ・ モンゴルなど海外高専生を対象に市内企業でインターンシップ実施
- ・ JICAと連携しケニアの社会課題を解決



ケニアのスタートアップとの交流

■大手通信・IT企業との協定締結による人材育成

長岡市・長岡技大・長岡造形大・長岡高専×KDDI

⇒次世代の地域産業をリードする
人材の育成、地域産業のDX推進



長岡市×楽天グループ

⇒長岡で活躍するデジタル人材育成(地元定着)
～デジタルを学びたい留学生や学生が集まる街へ～



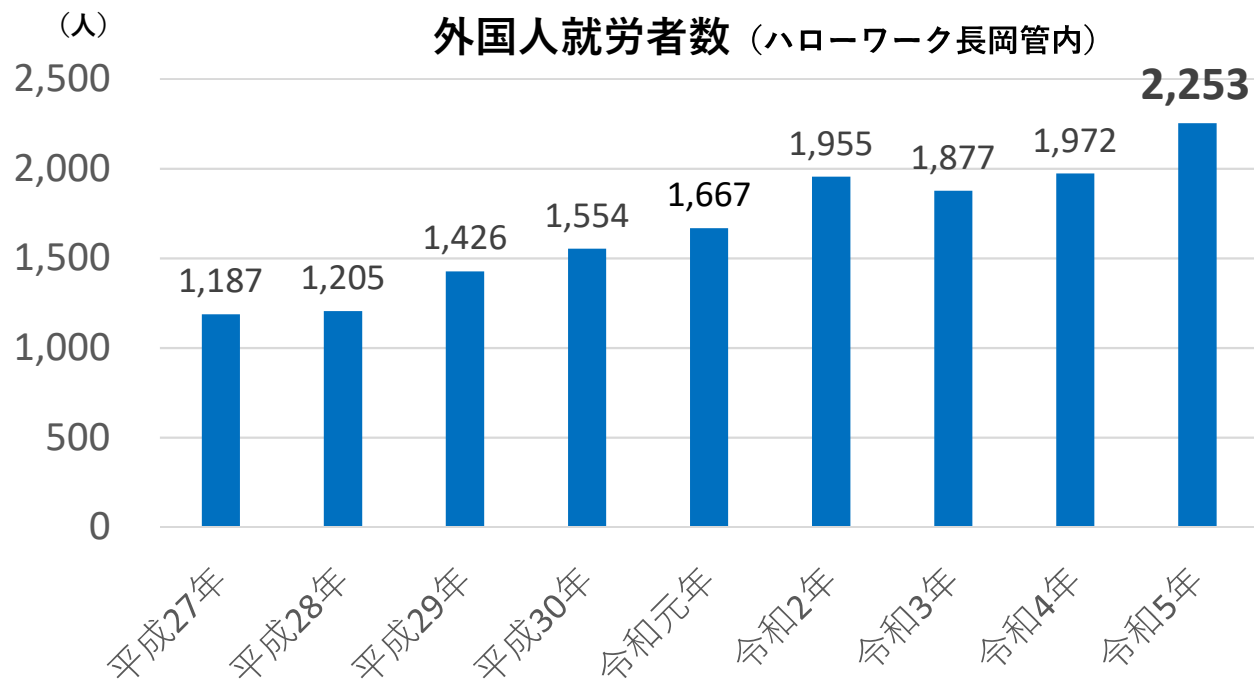
長岡市×東日本電信電話株式会社(NTT東日本)

⇒長岡版イノベーションのさらなる活性化、日本海側
デジタル拠点「イノベーション都市 長岡」の実現



外国人が働き、活躍できる「長岡モデル」

- 令和元年7月、市内企業や大学・高専、商工会議所、金融機関、市など29団体で構成する「**長岡グローバル人材活躍推進協議会**」を設立
- 留学生や**モンゴル高専生**、**ベトナムホーチミン市工科大生のインターンシップ**などを通じて、市内企業とのマッチングを実施
- 昨年10月、**キルギスに官民の視察団を派遣**し、人材交流に必要な枠組みづくりや大学・企業連携の可能性を探求



産業団地への企業誘致

■長岡北スマート流通産業団地

- ・進出決定企業21社中、13社が稼働
- ・今年1月、左岸バイパスの北延伸道路が開通し、アクセスがさらに向上



・分譲面積 約26.7ha ・区画数 33区画

◎予想される経済効果

- ・設備投資額 約213億円
- ・売上額 約250億円
- ・雇用人数 約1,000人
(うち新規雇用：約350人)

■西部丘陵東地区への企業誘致

- ・企業からの引き合いも多く、現在、残り1区画が商談中

■中之島支所の近隣に新たな産業団地を整備

■越路地域の浦地区で民間の産業団地が完成

- ・新たな企業進出が見込まれる



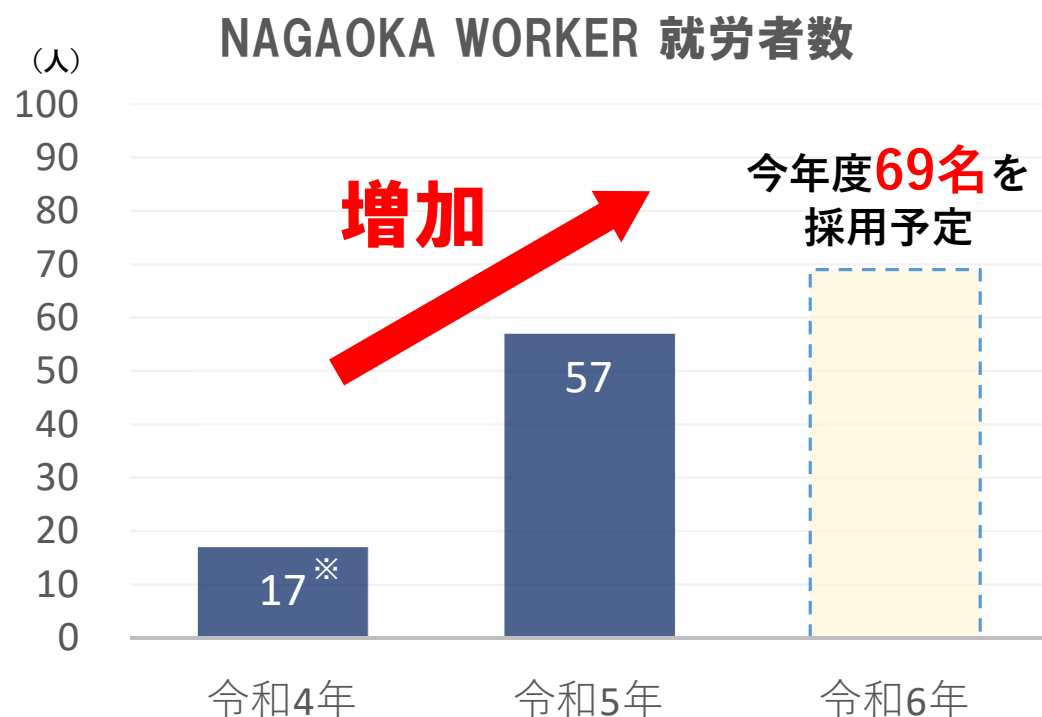
大積スマートIC(仮称)は
令和8年度までの完了を目指す

新しい働き方「NAGAOKA WORKER(ナガオカワーカー)」

- ・長岡で暮らしながら首都圏の企業(本社採用・同待遇)にリモートワークで勤める新しい働き方

長岡ワークモデル = 「NAGAOKA WORKER (ナガオカワーカー)」

- ・長岡市は令和3年1月に(株)USEN-NEXT HOLDINGSと協定を締結し、賛同企業64団体と「長岡ワークモデル」の普及を促進



※令和4年は賛同企業に正式な調査を実施していないため、概算の人数



新しいワークモデルを進め、若者の地元就職に貢献したことが評価され、2022年度地方創生テレワークアワード「**地方創生担当大臣賞**」を受賞

サテライトオフィス誘致

- (株)USEN-NEXT HOLDINGSの長岡拠点はじめ、**首都圏企業など27社がサテライトオフィスを開設** ※市は補助制度などにより積極的に支援
- 令和5年7月に「米百俵プレイス ミライエ長岡」西館がオープンしたことで、**企業進出が加速**

(件)
20

サテライトオフィス進出件数



若者への起業支援

Step 1

課題解決経験
先端的技術開発

(株)雷神
高専発ベンチャー
「高齢者向けスマホ教室」



ウイルス禍で人とのつながりをオンラインで作りた
いと思い起業しました

「ファーストペンギンプログラム」

Step 2

起業マインドの
醸成

Step 3

起業の手法修得

起業講座

「リーンローンチパッドプログラム」



Step 4

起 業

Step 5

企業として成長

(株)IntegrAI
高専発ベンチャー
「ワクチン保管庫 温度監視」



モンゴル人留学生2人とAI
と小型カメラを使ったシス
テムで起業しました

▶ 若者の挑戦がカタチに

学生起業家(22社)、大学発ベンチャー等が続々誕生

この10年で起業件数は**300件**を達成
起業支援センターCLIP長岡への相談は**3,000件**に！

女性活躍支援×起業 × 長岡造形大

- ・長岡造形大学と連携し、女子学生によるデザイン思考や視点を活かしたビジネスの事業化を後押し
- ・起業実践に向けた起業ノウハウ習得やコミュニティ形成プログラムを実施

起業×長岡造形大学の女子学生

- 造形大の生徒1000人のうち女性が8割
 - デザイン思考の実践的教育による課題解決に優れた学生が多数在籍
- ⇒ex.課題解決型「ソーシャルビジネス」に焦点を当てた起業支援を連携実施

(参考) 造形大出身の女性起業家

- ◆ペえペえでざいん 山田 準子さん【R4】
└イラスト、デザイン、動画制作
- ◆暮らしの雑貨店HOPI 清水 麻琴さん【R4】
(鳥取出身)
└雑貨店(小売業、デザイン業)
- ◆でざいんのおすびめ 長谷川 彩華さん【R5】
└学生(デザイナー)と企業のマッチング支援、デザイン業

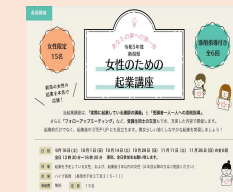


起業実践に向けた支援プログラム

～起業ノウハウ習得～
「補助金活用セミナー」
令和5年4月17日(月)
講師:小池裕子さん



「女性のための起業講座」
令和5年9月16日(土)
～11月26日(日)(全6回)
※新潟県と連携して実施



～コミュニティ形成～
「起業女子カフェ交流会」
令和6年2月17日(土)
※新潟県と連携して実施



地域資源循環による新産業の創出



- 令和3年6月、内閣府「地域バイオコミュニティ」認定 ※全国6か所
- 地域内のコメ（作付面積全国2位）や未利用資源を活用しバイオ産業を創出
- 「長岡バイオエコノミーコンソーシアム」には、産学官金59団体が参画

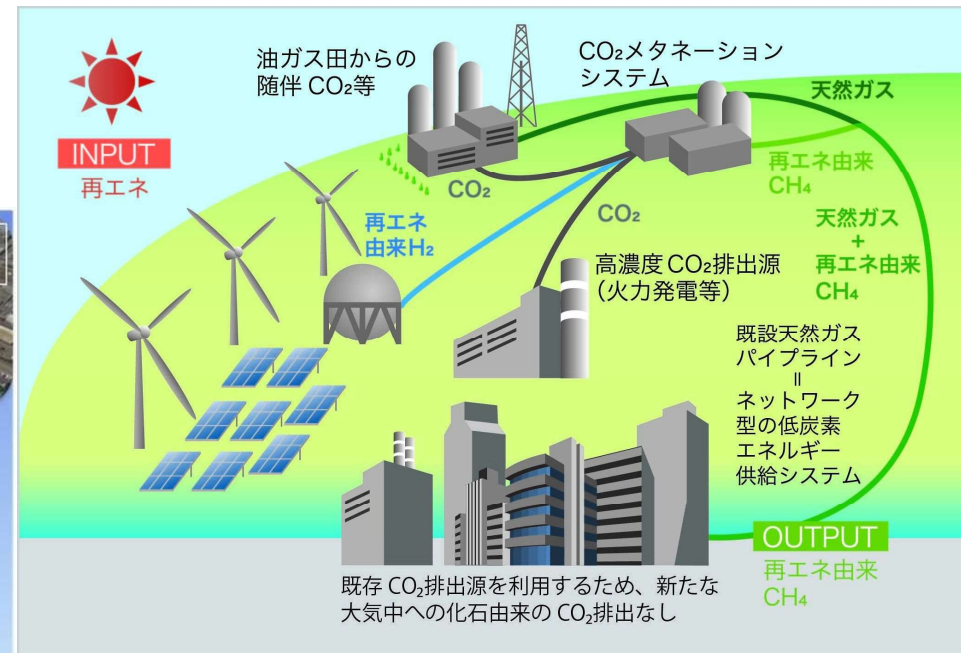
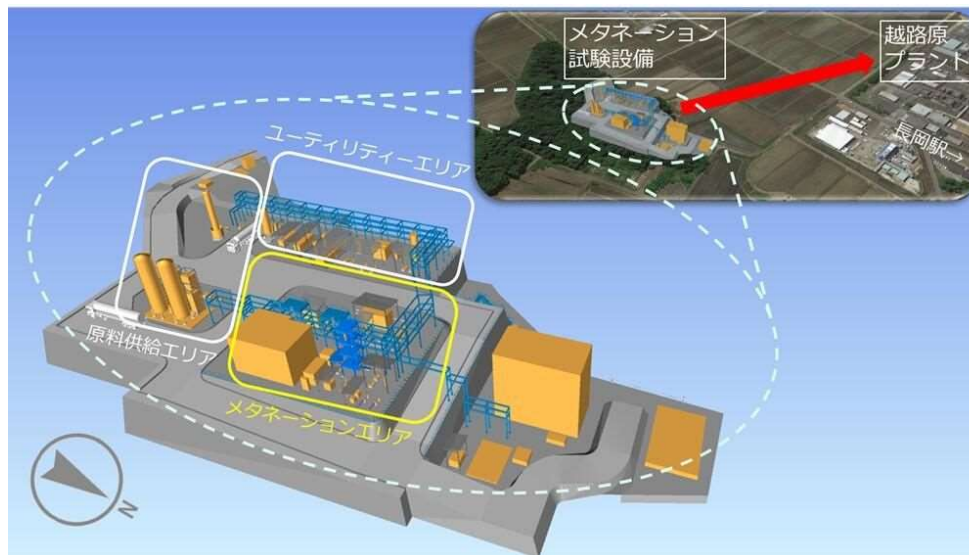
全市域をフィールドにした社会実装、プロジェクトが進行

- ・ 自治体では最大規模の処理能力を誇る生ごみバイオガス発電センターの発酵残渣を「**寿メタンバイオ肥料**」として活用する取り組みをスタート
- ・ 米菓会社で廃棄していた**高濃度洗米水（とぎ汁）**を有機肥料として、米作りに活用する資源循環「**N.CYCLE**」に挑戦



世界最大級のメタネーションプラント建設中

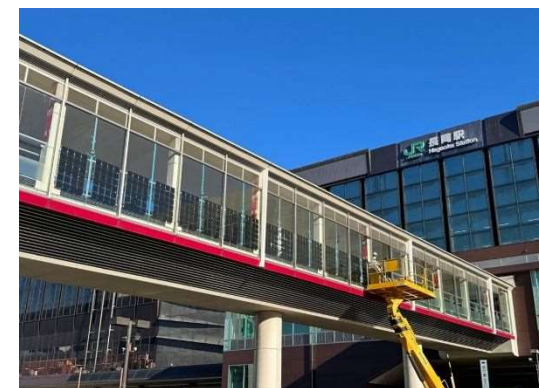
- (株)INPEX × 大阪ガス(株)の共同事業、2023年から造成工事
- 越路原プラントでNEDO助成採択、実用化目指す
- CO₂から合成メタンを製造
- INPEXの都市ガスパイプラインから需要家へ供給
- 2025年度中の運転開始目指す



脱炭素化の支援で競争力を強化

長岡市省エネ・再エネ産業振興プラットフォーム × 産学官金

- ・ 産業界の脱炭素化支援・競争力強化を目的に令和4年7月設立、産官学金合わせ 31の企業・団体が参画
- ・ エネルギー供給企業やリーディングカンパニーとのマッチングにより、市内企業の脱炭素分野への新規参入を促進
- ・ 今年、これまでの取り組みが国から高く評価され「**雪国長岡での再生可能エネルギーの導入促進プロジェクト**」が環境省の交付金に採択。5年で11億円規模の事業を実施



長岡駅ペDESTリアンデッキに設置した雪国対応太陽光パネル

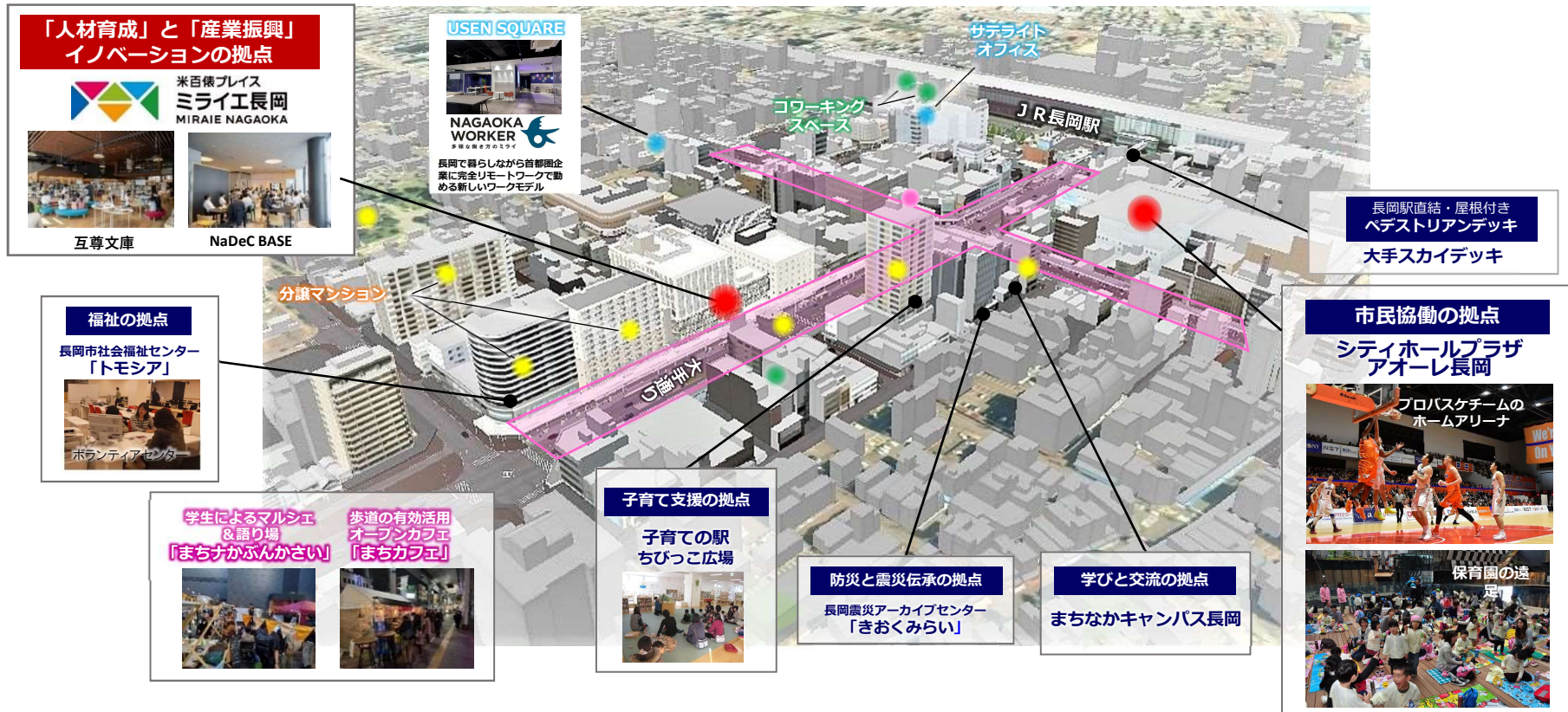
長岡パワーエレクトロニクス研究会 × 長岡技術科学大学

- ・ パワーエレクトロニクス＝エレクトロニクス・制御・電力が結合・融合した新たな技術分野
- ・ 長岡技大は7つの研究室・100人超の学生が在籍する国内最大のパワエレ拠点
→令和4年7月に研究会を設立。技大の強みを活かし「人材と企業の集積」の好循環により、パワエレ産業の振興を目指す。

日本初「イノベーション地区」の創設 長岡市×内閣府×東京大学CREI



- 令和4年3月30日、内閣府地方創生推進事務局、東京大学連携研究機構不動産イノベーション研究センター(CREI)と研究連携協力協定を締結
- 現在、東京大学CREIと連携し、ミライエ長岡のNaDeC BASEで利用者データ等を取得・分析し、イノベーション創発との関連性を検証



さまざまな分野の人が集い、交流し、活動する、開かれた場



- ・令和5年7月22日に「米百俵プレイス ミライエ長岡」西館がオープンし、1年で来場者は38万人を超えた
- ・新しい互尊文庫やNaDeC BASEをはじめ、スタートアップやベンチャー企業、産総研等も入居し、さまざまな企業人や起業家、研究者が活動している

- ・今年3月、国際的なイノベーション地区の専門研究機関GIID・ラウラ上級研究員がミライエを見学
- ・ミライエには、イノベーションに必要な「**グラビティ=引力（人を惹き付ける力）**」があると評価



デジタル化・DXの推進拠点 「ながおかDXセンター」

- 今年6月10日、**長岡市**と**長岡商工会議所**、**日本精機グループ**3者で、「長岡版イノベーションの推進と地域社会及び産業の発展」の実現に向けた連携協定を締結。
- 協定に基づき、**8月8日**に「**ながおかDXセンター**」が**ミライエ長岡6階**にオープン。



- ながおかDXセンターは、**地域、企業、教育機関等のデジタル化・DXを推進する拠点**が誕生。
- 日々抱えている**課題に寄り添い、解決へのサポートや新たな価値の創出**につなげる、**オープンなプラットフォーム**として、市もしっかりと**下支え**していく。

イノベーションの動き

★国・企業の補助事業採択

名称	金額	内容
R6デジ田交付金 ①地方創生推進 ②デジタル実装	① 5,500万円 (H28～R6合計 6億6,266万円) ② 2,270万円 (R4～R6合計 1億3,202万円)	①高度外国人材、eスポーツ、脱炭素、人材マッチング ②粗大ごみ収集運搬等のDX、幼・保キャッシュレス決済導入など
JICA「草の根技術協力事業」	3年間・ 6,000万円 (R5.9～R8.8)	モンゴル3高専市内企業就業プロジェクト
環境省「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」	5年間・ 11億円 (R6年度～R10年度)	雪国長岡での再生可能エネルギー導入促進プロジェクト(太陽光発電設備、ZEH化支援)
(一財)三菱みらい育成財団事業プログラム	5年間・ 最大6,000万円	地域DXエバンジェリスト創出プログラム ～高専生がデザインする地域未来～ ※申請者：長岡高専
(国研)NEDO補助事業	5年間・ 30億円 ※全体事業費135億円	(株)ちとせ研究所が長岡をフィールドに未利用資源活用の実証実験
(国研)JST共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)	10年間・ 20億円 ※年度・2億円	“コメどころ”新潟地域共創による資源完全循環型バイオコミュニティ拠点 ※申請者:長岡技科大

★国との協定など

締結・認定日	内容
令和3年4月	経済産業省関東経済産業局と包括連携に関する覚書を締結 ※自治体としては初
令和3年6月	内閣府の「地域バイオコミュニティ」に認定
令和4年3月	内閣府、東京大学連携研究機構不動産イノベーション研究センター(CREI)と、日本初の「イノベーション地区」の創設を目指す研究連携協力協定を締結

外部からのイノベーションの評価

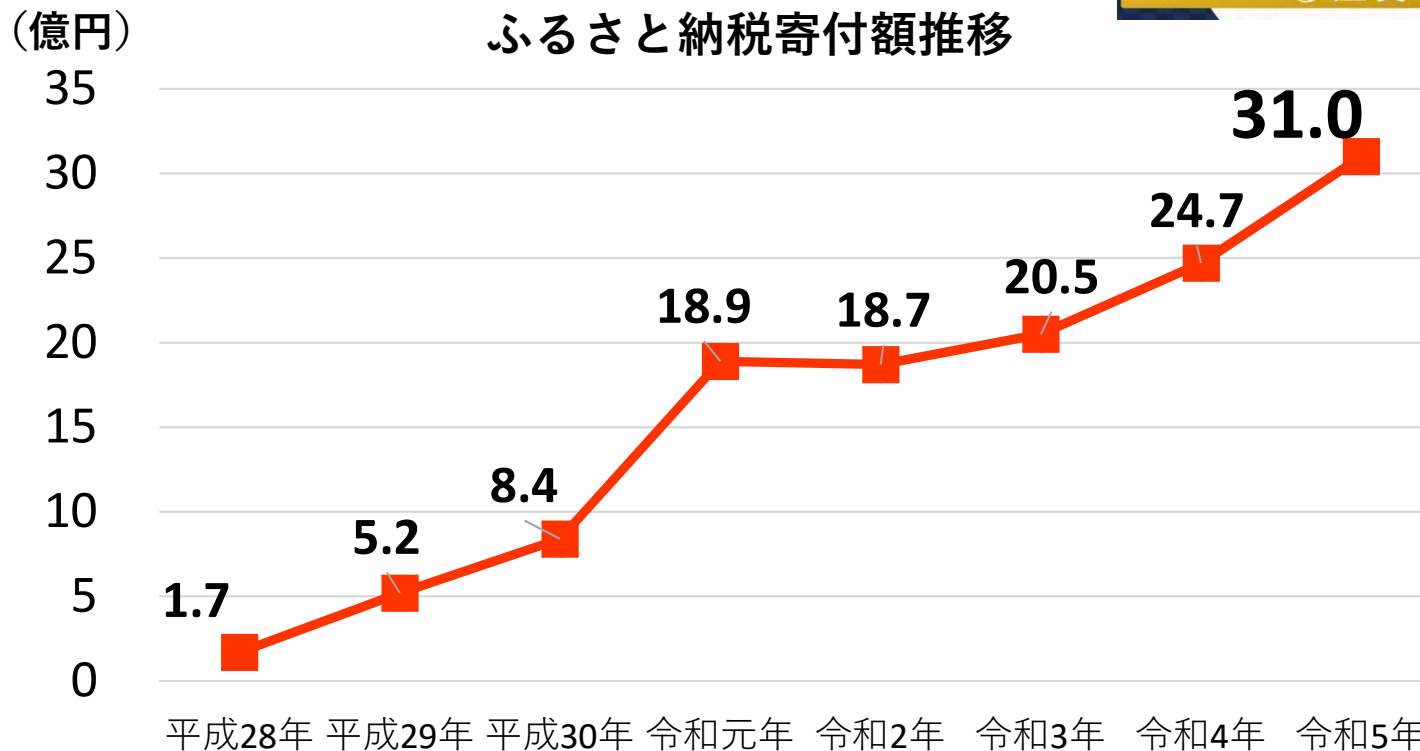
★国の表彰関係

受賞日	内容
令和5年1月11日	「NAGAOKA WORKER」が「2022年度地方創生テレワークアワード」地方創生担当大臣賞を受賞
令和5年2月15日	長岡高専とNAZE、長岡技大等がアフリカの社会課題解決を目指す「JICA高専オープンイノベーションチャレンジ」が、「日本オープンイノベーション大賞」の最高賞である「内閣総理大臣賞」を受賞
令和6年1月23日	長岡教育情報プラットフォーム『こめふら』が「第16回キャリア教育優良教育委員会 文部科学大臣表彰」を受賞



ふるさと納税、好調

- 長岡が誇る米や日本酒15蔵飲み比べ定期便、ものづくりのまち長岡が誇る製品、発酵食品など、長岡ならではの返礼品が人気
- 魅力的な返礼品に加え、効果的な広告の掲出、決済手段の拡充による利便性の向上が、寄付額の増加につながっている

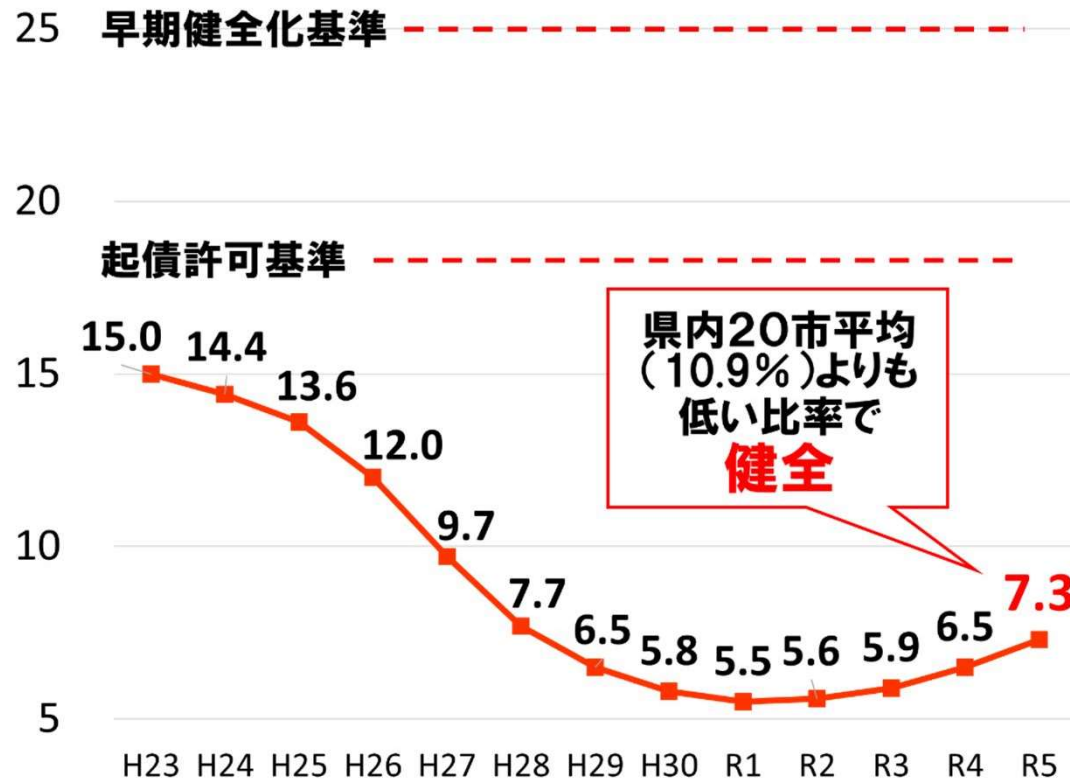


健全財政の堅持

○ 令和5年度決算（一般会計） **50億円の黒字**

○ 貯金 **158億円** } (財政調整基金 98.4億円 減債基金 19.0億円
都市整備基金 41.0億円)

○ 借入金の返済負担（実質公債費比率）



原子力防災の取り組み



- 令和5年12月19日、県および長岡市をはじめとするUPZの首長で、[内閣府](#)に柏崎刈羽原発の安全対策と防災対策の推進に関する[要望書](#)を提出
- 柏崎刈羽原発の安全対策の徹底と複合災害時を含めた防災対策の推進を求めるとともに、避難経路の整備として、[長岡東西道路の4車線化](#)などを要望

※原子力規制庁へも同様の要望書を提出

- 令和6年2月23日、県内30市町村による「市町村による原子力安全対策に関する研究会」で、[首長説明会](#)を開催
- 能登半島地震を踏まえ、複合災害時の避難のあり方や安全対策などを国へ強く要望

